

# 全国第3号研修普及研究会議（仮称）設立宣言

～必要な人に、必要な支援を届ける～

喀痰吸引等研修事業「第3号研修」が、当事者や「支援」をするものたちの力と願いによって獲得され、生存を保障し生活を豊かにするツールとして制度化されて数年が経った。

初年度は都道府県事業として始まったが、次年度からは「登録研修機関」による独立採算制の事業として稼働してきた。しかし、その運用が都道府県に委ねられることによって、国の制度であるにもかかわらず、都道府県によって実施状況や実施のための要件などがまちまちになっているため、必要としている方々に必要な支援が十分に届いていない現状があることが様々なかたちで見えてきている。

また第3号研修を受講し、個別の関係性に立脚し、個別のケアにあたる際の多職種連携体制の整備や、報酬などについての課題があることは、厚生労働省が毎年実施している実態調査からも明らかになっている。

しかしながら、そうした課題は認識されつつも、それに対する改善策や仕組みの見直し、さらには支援が届いていない状況に対する方策はまったくないといってもいい（ごく一部の県や市などによる研修事業への補助制度が始まってはいるが）。

それぞれの現場から各都道府県の担当者にそうした声を伝えてきてはいるが、果たしてそれで解決するのだろうか？ その声は「研修機関からの報告」としては厚生労働省が毎年まとめてはいるが、実際に研修を受講し支援を届けている人々の声は届いているのだろうか？ ましてや、そうした支援を必要としている方々の声は届いているのだろうか？

喀痰吸引等研修事業が始まって4年目を迎えた今日、わたしたちは、とりわけ「第3号研修」と呼ばれる類型に希望を見出し、従来から「医療的ケア」と呼んできたことに、さらに対応していけるものとして、育てていくはたらきを始めなければいけない時期を迎えている。

そして今日2015年6月21日、偶然ながら「ALSグローバルデイ」に「当事者の声を聞く！」と題してシンポジウムを開催し、その声を聞いたがゆえに、私たちは具体的につながり、ともに考え行動していける全国を縦断した組織の必要性を痛感した。

NPO 法人医療的ケアネットから、全国のこの課題に関心を寄せる方々に呼びかけます。  
「一緒に考え、行動していきましょう！」

まずは研修事業が必要な人にきちんと届くように、それぞれのもつ力を結集させましょう。どこに住んでいても同じように生存が保障され、生活を豊かにするためのツールである第3号研修を届けるために。「〇〇県の△△さんが、吸引の支援を必要としている！」という情報が入ったら、その方の支援者を集めて第3号研修を実施するために駆けつけられる組織として！

全国のこの課題に関心を寄せる方々とともに、実態調査・課題の分析・政策提言を行っていくために集めたいと切に願います。そのための連絡・調整は当法人が担わせていただきます。

賛同いただける方・団体は [3gou.kensyu.council@gmail.com](mailto:3gou.kensyu.council@gmail.com) までご一報ください。またこちらから参画のお願いをさせていただいた際には、どうぞお力添えください。

私たちは「第3号研修」の地域間格差の解消とさらなる発展のために、全力をあげて取り組んでいくことを、今日ここ京都の地で宣言いたします。

2015年6月21日（日）NPO 法人医療的ケアネット シンポジウム  
「当事者の声を聞く」～第3号研修がひろげる暮らし～